



平成30年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年4月5日

上場会社名 川口化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4361 URL http://www.kawachem.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田吉隆
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役総務部長 (氏名) 荻野幹雄 (TEL) 048-222-5171
 四半期報告書提出予定日 平成30年4月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年11月期第1四半期の連結業績(平成29年12月1日～平成30年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年11月期第1四半期	1,694	1.2	18	△78.1	20	△75.9	14	△75.6
29年11月期第1四半期	1,673	16.8	85	-	84	-	59	-

(注) 包括利益 30年11月期第1四半期 13百万円(△80.2%) 29年11月期第1四半期 67百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年11月期第1四半期	1.20	-
29年11月期第1四半期	4.92	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年11月期第1四半期	6,477	1,708	26.4
29年11月期	6,299	1,731	27.5

(参考) 自己資本 30年11月期第1四半期 1,708百万円 29年11月期 1,731百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年11月期	-	0.00	-	3.00	3.00
30年11月期	-	-	-	-	-
30年11月期(予想)	-	0.00	-	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成30年6月1日を効力発生日として普通株式10株を1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成30年11月期(予想)の1株当たり期末配当金及び年間配当金合計につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年11月期(予想)の1株当たり期末配当金及び年間配当金合計は3円00銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年11月期の連結業績予想(平成29年12月1日～平成30年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,400	△4.2	80	△55.5	80	△54.5	55	△56.2	4.52
通期	7,000	△0.0	180	△32.2	180	△30.4	120	△33.3	98.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成30年11月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年11月期の通期連結業績予想における1株当たり当期純利益は9円85銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社 除外 — 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年11月期1Q	12,200,000株	29年11月期	12,200,000株
② 期末自己株式数	30年11月期1Q	21,375株	29年11月期	21,375株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年11月期1Q	12,178,625株	29年11月期1Q	12,178,924株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成30年2月27日開催の第116回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成30年6月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施することとしております。併せて同日付で単元株式数の変更 (1,000株から100株への変更) を実施することとしております。

なお、当該株式併合の影響を考慮しない場合の平成30年11月期の配当及び連結業績予想は以下のとおりであります。

- (1) 平成30年11月期の配当予想
 1株当たり配当金 (期末) 3円00銭
- (2) 平成30年11月期の連結業績予想
 1株当たり当期純利益 (期末) 9円85銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界の景気は、引き続き米国においては緩やかな回復が継続し、中国をはじめ東南アジアでは景気持ち直しが継続したことにより、緩やかに回復しました。国内においても、個人消費や設備投資は持ち直しの動きが継続し、企業収益や雇用情勢の改善もあり、緩やかな回復基調が継続しました。

当社の関連する自動車業界においては、国内の自動車生産台数は前年同期並みで推移し、ゴム工業用品やタイヤ並びに合成ゴムの生産においても総じて前年並みで推移しました。

このような環境の中、市場の変化に対し、既存事業の拡販、新製品の紹介、内外の新規顧客の開拓に注力しましたが、ゴム薬品においては加硫剤の販売が低調であったことと、海外品との競合や為替が円高になったことにより、日本国内向け、海外向けとも売上が前年同期を下回りました。樹脂薬品、その他薬品は、積極的な販売活動を行った結果、新製品の受注拡大と併せて、既存品についても販売増加したことから、売上が前年同期を上回りました。中間体は受注時期もあり全体では売上は前年同期を下回りました。

原材料は、当期に入り為替が円高になりましたが、原油・ナフサ価格が昨年比で上昇したことや、中国からの輸入原料価格が上昇したことにより、原材料価格が引き続き上昇しました。この影響を最小限とするため、内外の新規調達先の探索や評価を積極的に行いました。生産においては、市場環境変化による需要増減や、内外の顧客要望に応えるため、既存製品・新規製品とも生産数量や時期並びに人員配置の効率化に対し全社を挙げて取り組みました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1億94百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は18百万円（前年同期比78.1%減）、経常利益は20百万円（前年同期比75.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14百万円（前年同期比75.6%減）となりました。

セグメント業績の概況は次のとおりであります。

① 化学工業薬品事業

売上高は1億84百万円（前年同期比1.2%増）、セグメント利益（営業利益）は11百万円（前年同期比85.9%減）となりました。

② 不動産賃貸事業

売上高は9百万円（前年同期比8.8%増）、セグメント利益（営業利益）は7百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

（化学工業薬品事業の部門別の概況）

<ゴム薬品>

ゴム薬品の分野は、国内向けは、当期に入り国内自動車販売や生産が前年同期並みで推移しました。このような環境の中、工業用品向け主要製品の拡販に注力し、加硫促進剤や老化防止剤について売上を伸ばしました。しかしながら一部商品において顧客の在庫調整により売上が前年同期を下回った結果、工業用品向けは前年同期並みの売上となりました。タイヤ向け薬品は海外品との競合により、合成ゴム向け薬品は顧客の稼働がやや低調であったため、売上が前年同期を下回りました。

海外向けは、東南アジアの持ち直し傾向が継続し、顧客需要の拡大に対し拡販努力を行った結果、数量は前年を上回りましたが、当期に入り為替が昨年と比較し円高で推移したことから売上が前年同期を下回りました。

この結果、国内・輸出合わせてのゴム薬品の売上は、10億32百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

<樹脂薬品>

樹脂薬品の分野は、国内向けは、アクリル酸・アクリル酸エステルの生産が堅調で推移しましたが、当社の主要製品において輸入品との競合が引き続き継続し、主要品目で競争が激しくなったため、売上は前年同期を下回りました。

海外向けは、中国をはじめとする既存顧客が回復傾向で継続したことから、当期に入り、為替が円高で推移したものの、商品ごとに市場需要に合わせた拡販活動を積極的に行った結果、売上が前年同期を上回りました。

この結果、樹脂薬品部門合計の売上は1億99百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

<中間体>

中間体部門においては、界面活性剤中間体は品目により増減がありましたが、需要が全体で低調で推移し、売上が前年同期を下回りました。染顔料中間体及び農薬中間体は主要品目においては、商品により増減がありましたが、顧客の需要拡大もあり、全体として売上が前年同期を上回りました。医薬中間体・機能性化学品は、海外向けでは受注を獲得し、売상을伸ばしましたが、国内向けは主要品目の受注が第2四半期以降となった結果、全体では売上が前年同期を下回りました。

この結果、中間体部門合計の売上は1億47百万円（前年同期比20.2%減）となりました。

<その他>

環境用薬剤は、年末年始の需要増により売上が前年同期を上回りました。潤滑油向けは品目により増減がありましたが、全体では前年並みとなりました。新規用途向けは、新規商品の売上が増加したことと、既存製品は一部品目の受注が第2四半期以降となりましたが、主要品目で売상을伸ばした結果、全体では売上が前年同期を上回りました。

この結果、この部門合計の売上高は3億4百万円（前年同期比30.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産につきましては64億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億78百万円増加いたしました。これは主に、たな卸資産が1億51百万円、有形固定資産が1億17百万円増加したことに対し、現金及び預金が66百万円、受取手形及び売掛金が13百万円減少したことによります。

負債につきましては47億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億1百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が1億50百万円、支払手形及び買掛金が1億24百万円増加したことに対し、未払法人税等が47百万円減少したことによります。

純資産につきましては17億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が21百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年11月期の連結業績予想につきましては、平成30年1月15日に公表いたしました連結業績予想の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	844,627	778,566
受取手形及び売掛金	2,171,728	2,157,878
商品及び製品	696,542	764,053
仕掛品	275,570	379,835
原材料及び貯蔵品	312,835	292,239
その他	49,473	42,203
貸倒引当金	△3,704	△3,668
流動資産合計	4,347,073	4,411,108
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	759,751	738,182
その他(純額)	931,126	1,070,371
有形固定資産合計	1,690,878	1,808,553
無形固定資産		
その他	15,129	14,256
無形固定資産合計	15,129	14,256
投資その他の資産		
その他	259,538	257,944
貸倒引当金	△13,417	△14,076
投資その他の資産合計	246,121	243,868
固定資産合計	1,952,129	2,066,678
資産合計	6,299,202	6,477,786
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,132,533	1,257,308
短期借入金	860,000	1,010,000
1年内返済予定の長期借入金	690,223	685,222
未払金	258,978	233,991
未払法人税等	51,020	3,982
未払消費税等	6,786	-
賞与引当金	-	45,117
役員賞与引当金	12,000	3,000
その他	378,728	371,127
流動負債合計	3,390,269	3,609,748
固定負債		
長期借入金	609,880	591,070
役員退職慰労引当金	78,373	80,266
退職給付に係る負債	321,921	325,497
その他	166,901	162,488
固定負債合計	1,177,076	1,159,321
負債合計	4,567,345	4,769,070

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	58,437	58,437
利益剰余金	1,019,311	997,396
自己株式	△7,652	△7,652
株主資本合計	1,680,096	1,658,181
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,115	39,875
為替換算調整勘定	10,645	10,658
その他の包括利益累計額合計	51,760	50,534
純資産合計	1,731,857	1,708,715
負債純資産合計	6,299,202	6,477,786

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年2月28日)
売上高	1,673,413	1,694,263
売上原価	1,347,294	1,424,847
売上総利益	326,118	269,416
販売費及び一般管理費	240,523	250,710
営業利益	85,595	18,705
営業外収益		
受取利息	36	87
受取配当金	496	876
貸倒引当金戻入額	61	-
受取手数料	-	2,419
その他	1,305	2,630
営業外収益合計	1,900	6,014
営業外費用		
支払利息	3,177	3,196
貸倒引当金繰入額	-	622
為替差損	-	556
その他	294	115
営業外費用合計	3,471	4,490
経常利益	84,024	20,228
税金等調整前四半期純利益	84,024	20,228
法人税、住民税及び事業税	11,441	1,741
法人税等調整額	12,630	3,865
法人税等合計	24,071	5,607
四半期純利益	59,952	14,621
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	59,952	14,621

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年2月28日)
四半期純利益	59,952	14,621
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,353	△1,240
為替換算調整勘定	194	13
その他の包括利益合計	7,547	△1,226
四半期包括利益	67,499	13,394
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	67,499	13,394
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年12月1日 至 平成29年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,664,580	8,833	1,673,413	—	1,673,413
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,664,580	8,833	1,673,413	—	1,673,413
セグメント利益	78,538	7,057	85,595	—	85,595

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年12月1日 至 平成30年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,684,653	9,610	1,694,263	—	1,694,263
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,684,653	9,610	1,694,263	—	1,694,263
セグメント利益	11,038	7,666	18,705	—	18,705

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。